ペットをかっていますか

――たまごっち――

この授業の総合的なねらいは、この年齢の生徒が興味を抱いている日本のポップカルチャー（たまごっち）というテーマを通して、ペットについて議論させ、ペットの世話という日常的な事柄に関する日本語の表現ができるようにすることである。教室活動には、アンケート調査や、ペットの要求にどう対応するかを決めるカードゲームが含まれている。

ジャニーナ・カーロン
Janina Carlon
アーミデール高校
（オーストラリア、ニューサウスウェールズ州）

目的

言語面の目的

- 自分がかっているペットについて話をする／クラスメートのペットについてたずねることができるようになる。
- ペットの世話という日常行為について話をする／自分の日常生活について話をすることができるようになる。
- 小動物の正しい数え方を習得する。

学習する機能	学習する表現	学習する語彙
✣ 情報を得る ✣ 小動物を数える ✣ 日課を説明する（動詞） ✣ 感情を表現する ✣ 動詞の前につく助詞について復習する	✣ ペットをかっていますか ✣ なんびきかっていますか ✣ おふろにはいります ✣ わたしはかなしいです ✣ おなかがすきます ✣ ～にいきます、～をたべます、～にはいります	✣ 動物の数助詞（いっぴき、にひき、さんびき、よんひき、ごひき、ろっぴき、ななひき、はっぴき、きゅうひき、じゅっぴき） ✣ 日常活動の動詞（おきます、うまれます、つけます、あそびます、いれます） ✣ 感情を表現する形容詞

文化面の目的

- 同年代の日本の子どもが自由時間に熱中しているものを知り、理解する。
- マンガ、アニメ、カラオケ、最近では「たまごっち」（仮想ペット）など、世界的にも人気を得つつある、日本のさまざまな新しいトレンドを知る。
- 日本の日常生活について学ぶ。日本人もペットをかっているが、場所の狭さもあって、小動物をかうことが多い。動物への愛情は、万国共通である。

© 1999 THE JAPAN FORUM

レッスンプラン

用意するもの

たまごっち（日本のバンダイ製）
資料1*
資料2*

©BANDAI 1996•1997

授業の進め方

1. 導入：ペットをかっていますか（3分）

いつものように授業の冒頭の挨拶をしたあと、生徒に大きな段ボール箱を見せる。箱の正面には「私のペットです」と書いておく。

教師：この箱に何が入っているかは、あとでみなさんに教えますが、その前に日本語でどう質問したらいいか勉強しましょう。まず練習です。みなさんが、うちでどんなペットをかっているかお互いに聞いてみてください。1グループ6人ずつ、5つのグループに分かれて、メンバーにひとりひとり聞いてみてください。終わったら先生に質問してください。

2. アンケート：資料1（質問シート）（15分）

グループごとに質問シートを使ってお互いに質問する。次に、「一番人気のあるペット」「一番ユニークなペット」などについて、クラス全体で話し合わせる。

教師：先生に質問をしたい人はいますか。
生徒：せんせい、ペットをかっていますか。
教師：はい。
生徒：どこからですか。
教師：にほんからです。
生徒：ペットをなんびきかっていますか。
教師：いっぴきかっています。
生徒：ペットのなまえはなんですか。
教師：たまごっちです。
生徒：ペットはなにいろですか。
教師：むらさきです。

3.「たまごっち」についての教師の説明（5分）

教師は箱の中から「たまごっち」を取り出し、日本製の仮想ペットについてクラス全員に説明する。

情報1

「たまごっち」は、現在、子どもから大人まで非常に人気のある日本のおもちゃ（ゲーム）である。最初は、ひなにかえる前の小さな卵の状態で、心臓が鼓動を打って動き始める。それから、えさや水をやったり、寝かしつけたり、トイレに連れていったり、遊んでやったりして、機械ではあるけれど本物のペットと同じように世話をしなければならない。ちゃんと世話をしないと、病気になったり死んでしまうこともある。「たまごっち」の世話は、愛情と責任をもって行わなければいけない。今日は、「たまごっち」のために何をしなければならないかを勉強し、「たまごっち」をこのクラスのペットにしよう。

情報2

「たまごっち」には1日24時間の世話が必要なので、日本の子どもは学校にまで「たまごっち」を連れていって世話をしているが、授業中にポケットの「たまごっち」が鳴き出したりするので、いろいろ問題になり、多くの学校で「たまごっち」を禁止している。このため、子どもたちが学校に行っている間、代わって「たまごっち」の世話を請け負う若者までいるそうだ。

情報3

日本でもペットをかう人は多いが、十分なスペースがない都会では、猫や小型の犬、鳥や魚など小さい動物をかう場合が多い。団地や狭いアパートでペットをかうのはとても難しいので、本物の動物をかえない人にとっては、「たまごっち」は理想的なペットといえるかもしれない。

情報4

宿題として、「日本のポップカルチャー」について他の事例を調べるよう指示する。

4.「たまごっち」の世話の仕方について（20分）

カードを使った活動：資料2

1. カードを真ん中で二つに切る。
1) たまごっちがこうしたら

 ©1999 THE JAPAN FORUM

2) あなたは……

2. 次にこの二つにした紙のそれぞれの文章を切り離し、グループごとに封筒に入れ、封筒の表に1）「たまごっち」、2)「わたし」とラベルを張る。

3. 各グループ（1グループ6人程度）に「たまごっち」と「わたし」の封筒を配り、20分間で「たまごっち」のカードと「わたし」のカードをあわせるように指示する。「たまごっち」の封筒には、「たまごっち」の行動を書いたカード、「わたし」の封筒には、「たまごっち」の反応や「たまごっち」のためにしなければならないことを書いたカードが入っている。この活動の間に、生徒は声に出してカードの文を読んだり、組み合わせについて話し合ったりする。生徒の知らない語彙がカードに出てくることも考えられるので、動詞や形容詞のフラッシュ・カードを用意しておく必要があるかもしれない。また、辞書を使って、わからない単語を自分たちで調べさせてもよい。その後、生徒に切り離していない状態の資料2を渡し、それぞれのグループで答えを確認できるようにする。

次の授業のために、交代で「たまごっち」を家に持って帰り、一晩ずつ世話をするように指示する。

5. 発展学習

生徒に、「たまごっち」の世話について日記を書かせる。何時にえさをやったか、「たまごっち」が退屈して遊んだりしたか、何時に眠ったか、など。

6. 評価方法

- インタビュー
- アンケートやカードを使った活動をきちんと行えたかどうかで、生徒を評価することができる。グループ活動の間に、私はグループごとの反応を調べ、評価する。

生徒の反応

あらかじめ明確な目的を示した上で語学学習を進めることができれば、生徒にとって真の学習が行われたことになる。今回の授業で、生徒はできる限り学ぼうと、必死に努力していた。どうやって「たまごっち」の世話をしたらいいのかを知る必要があったからだ。

1. 生徒は、箱の中に何が入っているのか一刻も早く知りたいという一心で、あっという間にアンケートを済ませ、「せんせい、ペットをかっていますか」と質問してきた。

2. 今は私たちの町でも「たまごっち」を売っているが、この授業を行った当時はまだ知られていなかったので、生徒はこの新しいおもちゃに大いに興味をもった。「たまごっち」は日本のポップカルチャーの新しい例なので、今後も授業で使っていきたいと思う。

3. 生徒は「たまごっち」についての情報を熱心に聞いて、笑っていた。

4. 生徒は、カードを使った活動を非常に効率的にすませた。生徒は辞書をとても上手に使っており、学習の仕方そのものも学んだといえる。

5. 授業が終わったあとも多くの生徒が教室に残り、「たまごっち」についてさらに質問したり、「たまごっち」をよく見ようとしていた。生徒の質問の多くを、他の授業テーマに発展させることができた。例えば、「たまごっち」はどんな音（声）を出すのか、といった質問が出たが、これは、動物の鳴き声など擬声語学習のすばらしい導入材料になった。私はこの授業のタイトルを「日本のペットは日本語を話すって知ってた？」とした。オーストラリアの犬は“bow wow”というけれど、日本の犬は「ワンワン」というのだ。**（88頁参照）**

文化理解と外国語学習について

伝統文化と現代文化のバランスがとれた文化紹介が大切だ

私の日本語授業の一番のねらいは、生徒に日本に関する正しい情報を与え、それによって、生徒の日本に対する見方や価値観を広げ、彼らにこうした田舎町にあっても情報に通じた市民になってもらいたいということである。ある社会を理解する最良の方法は、その国の言語を学ぶことであると思う。

私が教えている生徒にとって、語学能力よりも日本の文化や社会を理解することがより重要だというのが、私の考え方である。生徒の大半は卒業後もこの町に残り、日本語を使う機会はほとんどない。

私は、必ず生徒が知っている事柄から授業を始めるようにしている。これは、生徒に自信を与えることになるからだ。例えば、「たまごっち」の授業では、ペットについての一般的な話や、犬や猫といったやさしい単語から始め、授業が進むにつれ、新しい情報やより難しい学習項目を導入するようにした。最初に生徒の興味を引きつけなければ、あとの授業では興味を失い、効果的な学習ができなくなるからである。

生徒は、授業が自分たちの必要や興味にかなったものであるかどうか、すぐに見抜く。ことばを教えるには常に目的をもたなければならず、明確な目的があれば、生徒もやる気を起こす。文化的なテーマを取り上げることが語学学習上、唯一適切な方法だと思われる。参加する活動が多ければ多いほど、生徒は多くを学ぶ。授業は生徒中心に考え、彼ら自身の学ぶ力を向上させる機会に満ちあふれたものにすべきだ。生徒が語学学習を自宅でも進め、さらに将来に向かって能力を広げていけるよう積極的に取り組ませることが、授業に不可欠の要素となる。

また、授業テーマにどのような文化的側面を取り上げるかについても気を使わなければならない、と私は考えている。伝統的な畳の家、日本の祭り、着物、子どもの歌など、日本文化に関する典型的な例は、日本文化がいかに私たちの文化と違うものであるかを明らかにする。こうした違いは古い日本のものであって、日本が何世紀もの間、西洋世界から孤立したことによって生じたものである。こうした例も今日の日本の一部分ではあるが、団地やカラオケ、ミニスカート、ルーズソックス、たまごっちなどの電子ゲーム、ビジネススーツといったものほどは大きな要素ではない。現代日本のこうした事物は私たちの文化とも近いもので、ラジオやテレビ、電話を通じて、世界中の人びとがお互いのことを知るようになり、お互いの文化を共有することができるようになってきている。

海外への修学旅行やインターネット通信を通じて、生徒の属している世界は小さくなってきている。伝統的な日本と現代日本のどちらの文化もバランスよく取り上げているかどうか、私たち教師は常に日本語の授業プログラムを全体的に見渡し、時には生徒の年齢に合った日本の流行も加えていくべきだろう。こうしたバランスがうまくとれれば、生徒は、文化の違いだけでなくその共通性についても理解を深め、共感することができる。文化の違いというのは興味深いものだが、あまりに別世界の話となってしまっては、身近なものとして感じられなくなってしまうものだ。

講　評

このレッスンプランでは、日本語と日本の文化を教える材料として、日本の最新のゲームを利用している。「たまごっち」のようなゲームは、世界中の若い世代が享受する世界的な文化のひとつである。

本物のペットをかうスペースがないという空間的制約が、「たまごっち」がここまで人気を集めた要因の一つと考えられるが、こうした情報は次の段階で提示した方がいいと思われる。生徒が交代で「たまごっち」の世話をしたあとに、その経験を話し合い、どうしてこのゲームがこれほどまでに人気を博したのかを話し合う討論の場を持つこともできる。

仮想ペットについては倫理的には意見がわかれるところだが、流行の若者文化を授業に取り入れ、利用することは意義のあることである。

 ©1999 THE JAPAN FORUM

ペットをかっていますか

指示

グループ内で次の質問をし合いなさい。

質問

1. ペットをかっていますか。
2. ペットをなんびきかっていますか。
3. ペットのなまえはなんですか。
4. ペットはなにいろですか。

答え	1	2	3	4
わたし				
さん				
さん				
さん				
さん				
さん				
さん				
せんせい				

語彙

なんびき

1……いっぴき
2……にひき
3……さんびき
4……よんひき
5……ごひき
6……ろっぴき
7……ななひき
8……はっぴき
9……きゅうひき
10……じゅっぴき

© 1999 THE JAPAN FORUM

たまごっちがこうしたら	あなたは……
たまごっちがうまれます。	うれしいです。
たまごっちがおきます。	でんきをつけます。
のどがかわきます。	のみものをあげます。 (……をのみます) のみものをやります。
たいくつです。	あそびます。
おなかがすきます。	えさをあげます。 (……をたべます) えさをやります。
おふろにはいりたいです。	おふろにいれます。 (おふろにはいります)
うんちをします。	トイレにいかせます。 (トイレにいきます)
びょうきになります。	ちゅうしゃをします。 (くすりをのみます)
わがままになります。	しつけをします。 おこります。
ねます。	でんきをけします。
たまごっちがしにます。	かなしいです。

 ©1999 THE JAPAN FORUM